

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山市立福南中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒702-8054  
岡山市南区築港ひかり町10-35

E-mail : fukunnanc@city-okayama.ed.jp

Website : http://www.city-okayama.ed.jp/~fukunnanc/

児童生徒数：男子 283 名 女子 241 名 合計 524 名  
 児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 『環境教育』

・ 1年生（9月～11月）

【ねらい】私たちの生活している地球の状態が今、どのようになっているかを知り、身近な地域の環境を見直す手立てを見つける。

【取り組み】イメージマップの作成、「森林の役割と森林伐採」「海洋汚染」についてのDVD鑑賞、出前講座、「ゴミ問題」に関するDVDの鑑賞、ゴミを減らすための工夫：岡山市のゴミの分別を確認する、環境保護宣言を教室掲示

・ 2年生（6月）

【ねらい】ゴミ問題から、他者との関わりを通して協同的な集団作りをする。

【取り組み】世界の現状を知り、ゴミについて考え、定義を考える。

・ 3年生（10～11月）

【ねらい】身近な自然に感謝し、環境について考え、発信できる生徒を育てる。

【取り組み】

活動日時：平成25年10月、11月 活動場所：児島湖周辺、福南中学校

参加対象者：3年生 185人

内容：テーマ「自然に支えられて人々の暮らしがあることに感謝しよう」

取り組み：

- ①ESDとは ②児島湖の現状を知る ③アスエコによる出前講座
- ④役割分担 調査係：調べ学習、行動係：清掃活動、発信係：ポスター作成
- ⑤実践 ⑥まとめ ⑦発表準備 ⑧各グループで発表、提言作成
- ⑨地域への発信（フェスティバル福南にて）

児島湖の現状を把握し、今自分たちに何ができるのかを出前講座を聞いて考えた。調査係、行動係、発信係にそれぞれ分かれ、自分の決めたテーマに沿って実践した。

調査では、インターネットや図書館を利用して調べ学習をし、行動係では実際に児島湖周辺の担当場所を清掃した。発信係は自分たちの思いを地域に伝えるためのポスターを作成した。最終的に3つのグループがそれぞれの教室で学習内容を発表し、知識や考えを共有し、生活班ごとに地域への提言を作成した。

## 『平和教育・国際理解教育』

・ 1年生 5～9月 世界の国について調べる 1～3月 広島研修に向けて平和学習

・ 2年生 5月 広島平和研修 1～3月 沖縄修学旅行に向けての平和学習、環境学習

・ 3年生 5月 沖縄修学旅行での平和学習

それぞれの活動内容は、11月末に毎年中学校区で行われる「フェスティバル福南」で掲示し、発表した。地域の方からの反響もあり、活動内容が伝わり、やりがいのあるものとなった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）